編 集 後 記

本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演を手では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演本号では、平成二九年三月二四日に外交史料館講堂で行われた講演を「東京裁判一国際政治と国際法の立場から一」の記録を掲載しました。

「『日本外交文書 占領期』第一巻・第二巻の採録文書について」と題 また、『日本外交文書 占領期』については、概要を紹介すると共に、

した記録を掲載しています。合国側との交渉などについて、その所収文書から、座談会形式で考察における日本の外交方針や外交権停止・日本国憲法の制定をめぐる連し、同シリーズの編纂に関わった担当者が、専門家を交えて、占領期

本号刊行にあたりご協力いただいたみなさまに厚く御礼申し上げます。以上『外交史料館報』第三一号の概要につきご紹介いたしました。

な代記程ではありませい。
(掲載論文などの論旨は、執筆者個人の見解であって、

外務省の

公式見解ではありません。〉

外交史料館報 第三一号

平成三〇年三月二三日

編集発行 外務省外交史料館

東京都港区麻布台一—五—三

電話 〇三—三五八五—四五

刷 東京都大田福祉工場

印

東京都大田区大森西二—二二—二六